

イトワズ RG

- ・体外受精について研究
- ・1978年初体外受精成功 ルイズブラウンさん
- ・1986年までに1000人
- ・1983年:凍結胚, 1991年:ICSI(顕微授精)
- ・2010年、ノーベル化学賞を受賞

受精卵の品質評価

特徴

- ・1個1個の受精卵の呼吸活性を数値化
- ・受精卵の発生を妨げない(無侵襲)
- ・培養条件下で計測が可能

判定基準

- ①最初の卵割タイミング(TLC)
- ②卵割球数(TLC)
- ③細胞断片の有無(TLC)
- ④細胞分裂4周期目完了後の卵割球数(TLC) = ウシの場合の発生停止期を超えたか
- ⑤胚盤胞期の呼吸量(受精卵呼吸測定装置北斗電工)

再生医療と細胞移植

- ・リンパ球 → 採取 → 調製、活性化 → 投与 → ガン細胞を攻撃
- ・血小球 → 採取 → 調製、濃縮 → 投与 → けがの治療へ応用
- ・膵島 → 採取 → 分離、調製 → 投与 → 糖尿病患者でインスリンが不要に

初期細胞数/培養液1滴

- ・色が濃くなるほどES細胞になる。
- ・Day 8の500 cellsになると分化がみられる。(資料参照)

4 感想

今回の実験で日本の医療の発展の高さに驚かされました。ES細胞を染色するにはどうするんだろうと思っていた私はこんなにも同じ作業を繰り返すということに疑問を感じました。また、自分の少し興味のある分野でもあったので楽しく実験することができたので良かったです。